



エジプト：内閣改造（第3次マフラブ改造内閣）

3月5日、マフラブ首相は内閣改造を行った。8名の交代があり、うち2ポストは新設の技術教育訓練担当国務大臣と人口担当国務大臣である。今次内閣改造で内相を辞任することになったムハンマド・イブラーヒームは、首相付き治安顧問に任命された。マフラブ首相は、内閣に「新しい血を入れるため」改造を行ったと述べている。

内閣改造で新入閣した8名は以下のとおり。

（※順番は State Information Service 発表に基づく。）

ポスト	氏名	任命時のポスト；その他前職
国務大臣（技術教育訓練担当）【新設】	アフマド・ユースフ	教育副大臣（技術教育）； Arab Contractors 社出身
農業・土地開発相	サラーフッディーン・ヒラール	農業庁長官
文化相	アブドゥルワーヒド・ナバウィー	国立図書館長；アズハル大学歴史学教授
教育相	ムヒッブ・ラーフィイー	教育省識字率・成年教育庁長官
内相	マグディー・アブドゥルガッファール	国家治安局長官（少将）
国務大臣（人口担当）【新設】	ハーラ・ムハンマド・ユースフ	人口国民評議会委員；カイロ大学薬学部教授；女性
通信・情報技術相	ハーリド・アリー・ナグム（ナジュム）	Egypt Post 総裁；IBM エジプト・中東法人出身
観光相	ハーリド・アッバース・ラーミー	エジプト観光局通信マーケティング監理官

評価

最も注目されるのは、内相がムハンマド・イブラーヒームからマグディー・アブドゥルガッファールに代わったことである。イブラーヒームはムルシー政権発足時から2年半内相を務めていたが、シーシー政権下で抗議デモに対する法的・物理的統制が強化されたことから、野党や人権活動家はイブラーヒーム内相に対する批判を強めていた。一方、新内相のマグディー・アブドゥルガッファールもこれまでの内相と同じく国家治安局長官の経験者で、大きな変化とはいえない。イブラーヒームへの批判を一時的に弱めるための「首のすげ替え」と解釈できるだろう。

（金谷研究員）

©本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799